

第23回さっぽろ青年全国大会

指導講演

可能性は無限大。 青年協励会員のAI活用実践！

～生成AI基礎からバيبコーディングまで～

鹿児島・マルノ薬局桜ヶ丘店 丸野 桂太郎

さまざまな顔をもつ 薬剤師

ご紹介いただきました鹿児島・マルノ薬局桜ヶ丘店の丸野桂太郎と申します。私は25歳のときに父をがんで亡くし、家業の薬局を継いだ協励2世です。AIやデジタルが好きで、経営を続けるなかで中小企業診断士、2025年(令和7年)9月に税理士登録をし、税理士事務所もオープンしました。自己紹介の代わりにして、あるラジオ番組を紹介します。実はタレントの小池栄子さんに番組で私のことを紹介していただいたのです。

——さて今回は一人のとても興味深い人物、丸野桂太郎さんに焦点を当て、そのキャリアや人物像を深く掘り下げたいと思っています。手元に丸野さんの経歴がありますが、彼がどんな道を歩んできて、その背景にどんな考え方があったのか、探ってみましょう。薬剤師としてキャリアをスタートさせながら、経営者、それから中小企業診断士、さらには税理

士という、多様な専門性を身に付けるに至ったのは一体なぜなのか。その間の学びや重要な転機、これを皆さんと一緒に解き明かしていきたいと思います。——

もうお気付きだと思いますが、この文章はテレビ東京系の「カンブリア宮殿」風にAIで生成したものです。これからの時代はAIにだまされないようにしなければいけません。

AIは超優秀な 新人スタッフ

生成AIは一言で言うと、超優秀な新人スタッフの一人です。文句を言わず24時間365日働きますし、膨大な知識をもっています。コンテンツも生成でき、自然言語(生活のなかで普通に使っている言語)での対話もできます。「まだ経験は少ないが優秀な新人が来た」。そんなイメージで使ってみてください。


有名なChatGPTやGoogle Geminiは、昨日の特別講演の坂本真樹さんのお話にもありました

がLLM、つまり大規模言語モデルというAIです。ネット上の大量の文書を学習し、その単語関係を学習した上で自然な文書を生成してくれます。われわれの質問に対してもっともらしい言葉をつなげていくことにより、自然言語のような回答が出来ます。文書の制作や質問の回答はすごく上手ですが、半面完全な正確性を担保するものではありません。

AIにおける 四つの重要ポイント

AIはここ数年爆発的な進化を遂げています。第1次、第2次AIブームもありましたが、その後コンピューターなどの性能の限界があり冬の時代を迎えました。ところが2022年(令和4年)11月にChatGPTが登場し、AIブームが一気に加速しました。

シンギュラリティ(技術的特異点)という言葉をご存じでしょうか。これはAIが人間の知能を超える点です。もう少しAIが進化すると指数



2025年(令和7年)11月2日(日)・3日(月・祝)の両日、北海道札幌市のホテルエミシア札幌で第23回さっぽろ青年全国大会が開催された。そこで行われた鹿児島・マルノ薬局桜ヶ丘店の丸野桂太郎先生の指導講演は、現在私たちの仕事に深く関係するAIを主題とするものだった。そこでこの講演を掲載するので、日々の業務の参考にさせていただきたい。(総務室・広報委員会)

関数的にAIの能力がどんどん上がり、あっという間に人間を超えます。当初シンギュラリティを迎えるのは2045年だろうといわれていましたが、多くの識者はもっと早いと予測しています。私もあと10年ぐらいで圧倒的にAIが人間を超えていく世界がくるのではないかと考えています。それまでにわれわれがしておくことは、やはりAIとともに生き、AIを活用していくというマインドをもつことです。しかしAIには注意点があります。ハルシネーション(AIが事実に基づかない嘘や誤った情報を生成してしまう現象)、直訳すると幻覚ですがAIはもっともらしい嘘をつきます。例えば「ロスバスタチンとアムロジピンは併用禁忌ですよ」と正しいことのように説明します。つまりAIは高品質ではあるけれど下書きの範囲を出ないのです。

私はAIにおいて重要なことが三つあると思っています。一つ目はAIができないのは物理的なこと。ものを売るなどはまさにそうです。二つ目はAIの回答の成否を見極める専門力はこちら側がもつこと。三つ

目はAIには越えられない法律の壁があること。つまりAIがどんなに優秀でも服薬指導することはできません。この壁は長く保たれると思います。四つ目はAIには当然ながら人を動かせる人間力がありません。「お願いします。もっと真剣に私の話を聞いてください」などとはAIは言えません。人を動かす人間力はとても重要です。だからこそ協励薬局はAI時代でも強いのです。

重要なのは明確な指示と役割の設定

ここからは、このあと活用する実践AIツールを比較していきます。

まずは有名なChatGPT、Gemini。これは自然言語だけでなく、図、動画などにも活用できるAIです。私はChatGPT、Geminiそれぞれに聞いて、どちらが正しい回答かなと考えたり、一方で考えてもらっている間に、もう一つのAIで別のことをしてもらおうなどしています。それからもう一つ紹介するのがGoogle NotebookLM。これは限定的な

知識を基にするもので、薬局や専門的な場所でいろいろと活用できると思っています。

実際に生成AIを使っていく上ではプロンプト(指示、促すこと)は重要です。つまり生成AIに指示を出していくのですが、どのあたりに注意が必要かを基本としてお教えします。良いプロンプトの極意とは、MECE(Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)と言いますが、漏れなくダブリなく指示を出すことを意識することです。指示があいまいだとAIの答えは期待どおりにならず、あいまいなものになります。例えば「集客アイデアを教えて」という問いは悪くはありませんが、「オンラインでの既存顧客に対する集客アイデア」などカテゴリーをせばめて指示を出すと、より精度の高い回答を期待することができます。

次に役割を与えることも重要です。例えば「高齢者向けの服薬指導の注意点を教えて」という指示を出す場合、「あなたは30年の経験をもつベテラン薬剤師です。高齢者向け

指導講演

可能性は無限大。青年協励会員のAI活用実践！ ～生成AI基礎からバンプコーディングまで～

の服薬指導で重要な注意点を三つ説明してください」と役割を与えたほうがより良い回答となります。薬局で使えるプロンプト集として、例えば「あなたは薬剤師です。ロスバスタチンを服用する患者さんに副作用として起こりうる筋肉痛について簡潔に説明してください」とすれば、横紋筋融解症について説明してくれます。役割を与え、どんなことをしてほしいのか、どのような回答がほしいのかを指定すると、AIはすごく素直なのできちんと答えてくれます。

『傷寒論』先生が優しく答えてくれる

ほかにも Geminiにはいろいろな機能があるのですが、私の印象では Geminiは画像解析に強いです。私は結構デジタル化に率先して取り組んでいますがマルノ薬局の勤務表はアナログで、給料計算をするときは Geminiにお願いしています。マルノ薬局の実際の勤務表をPDFにし Geminiに読み込ませて解析、出勤日数と勤務時間と残業時間を出してもらい、これをスプレッドシートにエクスポートし給与ソフトに入れるだけで給与計算が終わります。自分でもチェックはしますがおおよそ合っています。手書きのものでも読み込むのがすごいところです。

それから Geminiには Gem という機能もあります。これはカスタムプロンプトをあらかじめ入れておくと、それに応じた回答が出るという

ものです。参考までに鹿児島・(株)フジ薬局の藤井佑輔先生が作成された Gem を紹介します。「『傷寒論』先生」が答えてくれるというものです。「朝、鼻水が出て苦しいです。どのような養生法がいいですか」と聞くと、「ようこそいらっしゃいました。『傷寒論』と申します。薬店の店主をしております」と出だしから普通の Gemini とは違います。「朝の鼻水と漢方の考え方、あなたのその症状、漢方の世界ではいくつか考えられます」と、すぐにでも患者さんの問診に使いそうな答えが出てきます。『傷寒論』先生は68歳、漢方薬局の店主でキャリア40年、中医学にも深く精通している達人で、食事や睡眠、日常の食養生のアドバイスが得意な人物として設定しています。このように毎回よく使うプロンプトなどは Gem で管理しておくとう便利です。

また最近では画像生成も進化しています。Geminiに搭載されている Nano Banana が優秀です。それから NotebookLM です。冒頭のラジオ番組の文章も NotebookLM で作成しましたが、音声や動画も作成してくれます。事前に『日本薬局協励会七十年史』などの情報を入れてきたので「協励会の初代会長はどなたですか」と聞いてみます。すると「初代会長は佐々浪正典先生です。『最大よりも最良の薬局たらん』というスローガンを掲げた人物としても知られています」としっかり回答してくれます。専門書籍や医薬品情報、学会が提唱しているガイドラインなど間違い

が許されないものは NotebookLM に入れて質問することでハルシネーションの確率が下がります。

若甦まで知っている AI

ここからはワークショップとなります。まずは ChatGPT のアプリを起動してください。まず「元気がないときに飲む一般薬は何がいいですか」という文章を送信してください。私の ChatGPT は「元気がないといっても、原因によっていろいろありますよね」と回答してきました。皆さんもまったく同じ文章を送ったと思うので、隣の方と見比べてほしいのです。基本的にネットでの検索やプログラミングは、一つの問いに対して同じような回答が出ます。けれど生成 AI には“揺らぎ”があります。微妙に違うところがおもしろくもありますし、気をつけないといけないところでもあります。

次のプロンプトは「あなたは日邦薬品工業(株)が販売する薬の専門家である薬剤師です。そのなかで滋養強壮に良い一般薬は何ですか」と役割をもたせました。「若甦」と出てきましたね。別に何も学習させていないのに若甦を知っているんだと私もびっくりしました。同じ質問でも役割をもたせるだけで、まったく違う回答が出てきます。それから ChatGPT の deep research モードもとても便利です。私は deep research で調べたことからスライド用の原稿を作成し、またそれを AI に



渡してスライドを作成したりもしています。

次はGeminiのNano Bananaで画像をつくります。ブラウザでレバコールの画像を検索してみてください。それをコピーして貼り付けます。「白衣を着た薬剤師がこの薬を持ってほほ笑んでいるイラスト」と入れて送信するとすぐに画像が出てきます。

最後にNotebookLMです。私もよく質問を受けるのですが、キャリアアップ助成金について、NotebookLMで辞典をつくりましょう。ブラウザを開いて、キャリアアップ助成金と検索します。そうすると厚生労働省のサイトが出てくるので、そこにあるパンフレットのソースをNotebookLMに読み込ませます。チャットボタンを使って質問すると答えてくれるようになります。

スライド、画像、動画、コーディングまでAIで

ここからは応用編です。こんなこともできるということを紹介します。まずはスライドの作成で、Gensparkというアプリを使います。昨日、ChatGPTのdeep researchに「日邦薬品工業が販売しているミラグレーション錠について調べ、プレゼンテーションのスライド10枚分の原稿をつくってください」とお願いしました。すると「対象読者は誰ですか」といったレスポンスがくるので、この場合はできるだけ詳細に答えます。そして作成されたスライド構成をコピーし

Gensparkに貼り付け、「テーマカラーはオレンジで画像やイラストも入れて16:9のスライドを作成して」とお願いします。私が実際にやったことは数秒の打ち込みだけです。あとは自動で作成されますので、完成後に確認してみましよう。

次にChatGPTの動画作成サービスのSoraを使って動画をつくります。レバコールの画像をコピーして、「商品を薬剤師がおすすめしている動画」と指示します。ハルシネーションが起きるので修正は必要ですが、気軽につくれるので何回もつくってください。

最後にVibe Codingです。バイブコーディングとは、自然言語で指示を出しノリや雰囲気(バイブ)でコードを生成・修正するという意味で、専門知識がそれほどなくてもコーディングアプリがつけれます。Vibe Codingと相性のいいプログラミング言語はGoogle Apps Script (GAS)とPythonです。ビギナー向けにはGASがおすすめで、Googleがつくった言語なのでスプレッドシートやメールなどGoogleのサービスと簡単に連携することができます。

「Googleフォームでもらった回答に応じて自動にメールの返信がきたら」と思ったことはないですか。今回Googleフォームの質問内容は「興味のあること」で、「お名前とメールアドレスと、知りたいことや依頼してみたいことなど興味のある項目にチェックを入れてください」とします。そしてGoogleフォームで得た

回答のうち、興味がある分野に応じた本文と署名を送るようにしたいと思います。Geminiに件名、本文のテンプレート、回答に対応する文章を指示し、GASコードを書いてもらいます。これをGoogleフォーム内のGAS入力ページに貼り付け、フォームが送信されたときにこのプログラムが起きるように設定することで、Googleフォームへの自動返信を行うことが可能です。

5年後、10年後を見据えて

先ほどGensparkをお願いしていたスライドはできましたか。完成はしていますがスライド1枚目の写真が違ったものなので、ちょっと文句を言っておきましょう。「就寝前に2錠」と飲み方まで提案してくれていますが、これでは薬機法に抵触するかもしれません。ここはAIの弱いところなので、しっかり確認する必要があります。

ここまで皆さんにお伝えしてきたことのなかで本当にお伝えしたかったことは、最初に申し上げたとおり「AI時代だからこそ、最終的には専門力と人間力が大切になってくる」ということです。それを大切にしながら、まずはAIを使ってみてください。その結果、必ずやAIが皆さんの力を伸ばしてくれると思います。5年後、10年後を見据え、いまからAIとお友だちになって、薬局の業務でもどんどん活用していきましょう。